

## 平成 31 年度 西砂学習館運営協議会（令和元年 9 月）会議録概要

日 時：平成 31 年 9 月 18 日（木）午後 6 時～8 時 30 分

出 席：大橋 加藤 広瀬 進藤 長谷川 小笠原 岩元 小林 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：なし

### 1. 開会のあいさつ

大橋：サマーイベントが無事に終了した。実りのある形で 3 年目を終えた。係長と詰めながら運営面の詳細を明確にし、子どもの居場所づくりとして他館でも広めていける提案ができればと思っている。

### 2. 平成 31 年度地域活性化講座について

#### （1）「西砂川での災害を考える〈第 4 弾〉被災時クッキング」について

石川：資料は前回の会議で渡したものと変更はない。チラシは主要な施設に配布済。自治会へはまだ依頼していない。ウェブサイト「みんなの西砂川」へは依頼済み。

加藤：中里自治会には 80 部を直接お持ちした。

広瀬：自分の自治会には 20 部直接渡す。

岩元：今度の日曜日の役員会に間に合えば回覧はお願いできる。

石川：間に合わないかもしれないが、各自治会にチラシをお願いする。

岩元：10 月 13 日は七中で運動会があるので、拡大したポスターを受付に貼ると宣伝になる。

加藤：集まり具合を見て、ビラまきも検討する。

【参加】大橋、加藤、進藤、岩元、森

#### （2）西砂児童館・西砂学習館運営協議会合同企画について

石川：チラシ参照。講師は進藤さんに紹介して頂いた。既に児童館でヨガ講座を実施したことのある方。前回同様で軽食付で参加者からは大人 100 円、子ども 50 円集める。

小笠原：定員 15 名、全体では受け入れは 40 名まで。メニューは秋なので炊き込みご飯を考えている。午後 3 時から食材を切り始め 4 時～5 時には炊飯器のスイッチを入れたい。配膳時お手伝い頂きたい。

大橋：10 月の地運協で流れや料理の内容、お手伝いの人数を決めたい。

#### （3）にじっこ子育てひろば合同企画について

石川：前回、前々回でお願いした講師の評判が良かったので今年度も依頼したいと思っている。内容は講師ににお任せしたい。

大橋：当日は委員が関わることはほとんど無い。講師の都合、子育てひろばスタッフ、保

育士が確保できる日程で組みたい。地運協からは挨拶があるので1人は参加する。

#### (4) その他

石川：岩元委員と笠井信吾さんと打合せをした。さらに話を詰めていきたい。

岩元：先日の文化会研修では笠井さんに玉川上水の歴史についてお聞きした。どのような話を聞きたいかがあると良い。笠井さんは美堀町、横田基地の地域が詳しい。

大橋：どのくらい話のストックがある方なのか打ち合わせでお聞きしたい。宮崎さんの2階の資料はどうなるのか。沢山資料がありお話が聞けないのはもったいない。

岩元：宮崎さんの残されたものは豊泉さんがお話ししたいとおっしゃっていた。来年度の企画では早目に予定を立てたい。

### 3. 報告及び連絡事項

#### (1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

#### (2) 「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について（報告）

石川：資料参照。ご協力ありがとうございました。青少健から1万円の寄付を頂きなんとかやり繰りできた。会長が写真入りのまとめのパネルを作成。ご協力頂いた方や各学校にはお礼と一緒にパネルのご案内をした。教育部長も勧める良い事業なので、西砂学習館だけでは無く他の学習館にも広げていけたら子どものためになると感じる。そのためには制度化が大事と感じる。管理係長と相談し食材を消耗品に動かせないか試してみる。現状、午前実施の講師には材料費込で1万円をお願いをしているので、場合によっては足りないのではと思う。支払い基準では1時間6千円お渡しできるので、来年度は1万円ではなく、1万2千円に値上げして予算要求をする。

大橋：ある程度制度を明確にし他館に広げていければ良い。子どもの居場所づくりがメインの活動なので、青少健には毎年寄付のお願いができれば良い。岩間さんの回は35名と定員より増えた。そのために講師は急遽材料を買い、準備と、大変だったのでと感じる。講師には謝礼をお支払いしているが、実際は謝礼は材料代で無くなってしまう。講師は講座を開くために準備するものがあり、あまりお金をかけることをしては駄目かと感じた。事務局には、当日無断欠席の子どもへ、来る間の不慮の事故を懸念し確認の連絡をとってもらった。最終日、6年生男の子のグループが一生懸命宿題をしていたのが印象深かった。

石川：午後の案だが、第1実習室は午後2時には片付くので、騒いでしまう子は第1実習室に移動もできる。第1教室で本当に勉強したい子は集中できる。

大橋：例えば、余った時間に折り紙や貼り絵で、5回を通して1つの作品にするのはどうか。

「講師」ではなく、誰かがちょっと見てくれるだけで良い内容で、5回の活動で

形になるという体験を子どもに味わってもらいたい。来年まで時間があるのでアイデアを出して頂けたら。

広瀬：感想。2日目のパズルはかなり難しく、ゆっくりできたらと感じた。グループワークの日を1日入れても良いかなと感じた。

大橋：内容は講師にお任せしている。講師にご意見があったということはお伝えできる。夏休みの自由研究にリンクする形を考えて科学ものが多くなった。

石川：講師に作るものはお任せで依頼している。去年と違うものということでこうなった。

岩元：講師を選ぶ縛りが無ければ英語の歌を歌うのはどうか。学年を選ばないでできる。

石川：来年はオリンピックもあるので英語で挨拶程度は出来たら良い。歌も良い。

広瀬：楽しい内容が良い。

森：冒険、探検に興味を持っている子どもがいる。紐の結び方、水のろ過、火のおこし方など、興味をもってできる。難しいかもしれないが、HUGも良い。災害時についてじっくりお話できる良い機会になる。

岩元：昔遊び。おはじき。竹割りも良い。

大橋：昔遊びは午後のプログラムの中で取り入れられる。HUGの子ども版は災害を子どもなりに考えてみる機会になる。

広瀬：視聴覚室は利用可能か。

石川：利用可能だが、他団体とのバランスが大事。

大橋：子どものアンケート記載時に、「おもしろかった」「たのしかった」だけはダメと話している。何が楽しかったのか、どこが楽しかったのかを書くように伝えた。時間をとって書いてもらったので、子どもの本音を書かれている。

### (3) 地域学習館運営協議会交流会について

【参加】大橋、加藤、広瀬、進藤、長谷川、小笠原

石川：今回の担当は幸学習館。簡単な説明を聞いたあと、グループに分かれる。挨拶を兼ねて各学習館の取り組みを話してもらうとのこと。

大橋：大学生に幸学習館に関わるようになった経緯を聞きたいと思った。ゼミだったら関わられるけど、他の学習館は大学との関連がないと大学生と関わることがない。また、ボランティアの大学生には現状交通費を出すことができないが実費弁償費で出すことはできるか。それができれば大学生が学習館に関わる機会が増えるのではと感じた。柴田先生からは交通費を出してもらえないと学生は中々行けないと言われた。

石川：一般講師は交通費込の謝礼。実費弁償にはならない。

広瀬：学芸大の生徒も交通費位は欲しいと言う。推進員会でも提案したがダメだった。

増田：立川市の会計費目を実態に応じたものに見直さなければと感じる。お金の使い方にあわせ交通費を費目に加えれば良いのではないか。ここから提案する必要がある。

大橋：交通費だけでもだせる仕組みができれば良いと率直に思う。

石川：ボランティアで東京女子体育大学の生徒にお手伝いをして頂いていたが交通費は無かった。シティーハーフマラソンでのボランティアも交通費無しで来て頂いていることを考えると難しいのかと思う。

広瀬：断られても意見としてあげることは大事。

#### (4) フリースペースについて

小林：9月7日に実施。ミートボール、ミネストローネを作った。

小笠原：食べ残しの多さを気にしていた。感謝の気持ちを込めて食べきることを保護者を通じてお子さんにお伝えし、小食の子は量を調整する取り組みをした。この取り組みをしてからほぼ完食になった。

大橋：食べる量を自己申告制にし、配膳されたものは全員が完食するようになった。

小笠原：食事を無駄にしないという感覚が薄れてきている。そこをわかっているものとして、伝えていけば子どもなりに工夫をする。今後も続けたいと思う。

森：サマーイベントの食べ残しも気になった。工夫は大事。

大橋：頂いた食材なので残さない形を考えたい。食育や物への感謝へ繋がる大事なこと。

#### (5) 各委員から報告及び連絡事項

加藤：前にこの会議に地域学校コーディネーターが来た。他の運営協議会でも地域学校コーディネーターが会議に参加していると思ったが、まだのよう。

毎年、立川市の財政課で「やさしい財政白書」を作成し、立川市の中学2年生に配っているが、授業ではほとんど使われていない模様。「たちかわ市民財政を考える会」では「財政デザイン研究所」に協力して、中学生向けに更にやさしい副読本を作成した。教育委員会から、9月4日の校長会で、授業で取り入れて頂けないかと各中学校へ問いかけて頂いた。今週から各中学校を訪問し実施に向けて調整中。昨日は6中、5中に行き7中へは25日に行く予定。

広瀬：きらり秋号発行。11月30日市民交流クッキングが西砂学習館で予定。加藤さんが中心になり各学習館で実施している。きらりP9傾聴講座「こころを傾けて聴こう」はできるだけ多くの人に参加して頂きたい。西砂学習館では11月29日、12月6日で実施。

進藤：チラシ配布。「看取り・命のバトン」は申込受付中。「アール・ブリュット」は今年も開催が決まった。

長谷川：青少健では8月17日に第26回松明祭が無事に終わった。地域の皆様、お手伝い頂いた皆様に感謝。11月3日は中学生の主張大会。当日舞台上で発表する10編を3日間をかけて選んだ。青少健の行事は、10月18日に理事会がある。案内状を送付する。

岩元：7中の張替さんが、市長賞をとり、教育庁賞をとった。

大橋：中学生の人権作文を読んでいる。7中の作品はどれも読みごたえあり積み上げがすごいと思う。どこかで校長先生にお伝えしたい。沢山の良い作品がある。

小笠原：長い夏休みが無事に終わった。台風、ゲリラ豪雨時は神経をつかった。松中小は10月に運動会を控えている。西砂児童館は、9月21日地域交流会を予定。小学生家庭といかに地域を繋ぐか、交流会で色々な意見をお聞きしたい。秋から冬にかけてハロウィンやドッジボール大会のイベントを予定。

岩元：文化会では8月25日カラオケ大会が無事に終了。9月7日研修会で笠井信吾さんから玉川についてというお話を聞き、充実した時を過ごした。今後は11月2日～3日文化祭。演芸は11月2日。その実行委員会が明後日土曜に予定。11月24日ともだちコンサートを予定。この地域の学校の参加はない。均等にチャンスを与えて頂きたいと話をする。

小林：サマーイベントでは石川係長からこまめに連絡を頂きなんとか乗り切れた。

森：パソコン倶楽部は、夏は砂川学習館で活動。砂川学習館は活気が無いように感じた。9月3日ミニ講座としてUSBの使い方を学んだ。来月はワードの活用講座。

増田：市長選挙の投票率は前回29%、今回34%。今のようになら行政・議会にお任せしてはいけないのではないか。主権者としての市民の意見をきちんと行政に活かしていく活動を進めている。

石川：小林隆さんからお米の寄付を頂いた。

小笠原：夜間塾で利用可能。

#### 4. その他

※次回開催；次回は、10月10日（木）午後6時～ 西砂学習館